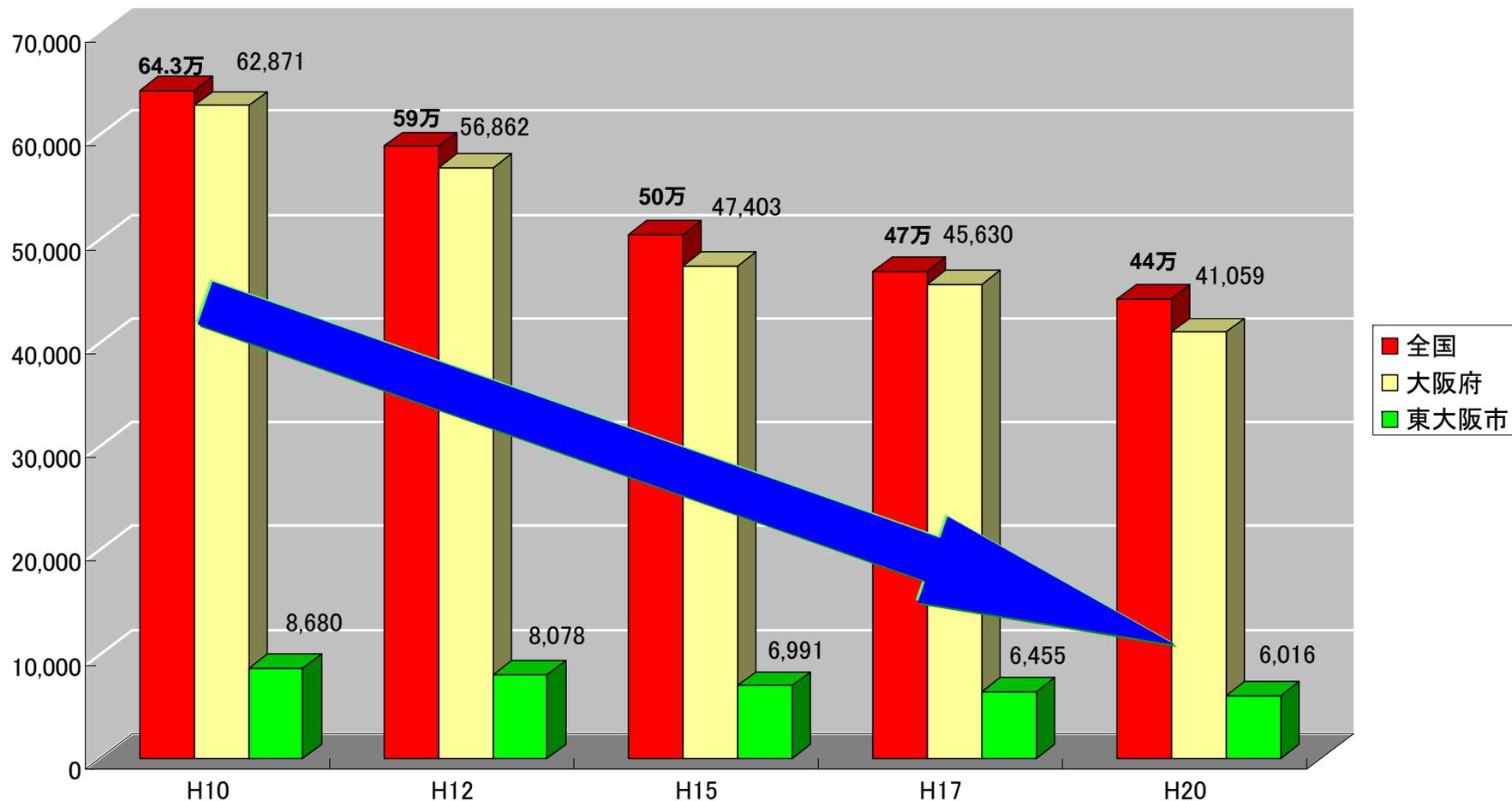


東大阪市の現状と課題①：事業所数の大幅な減少

【資料1】

- 昭和58年に1万を超えた事業所数はこれをピークに減少。
- 全国・大阪府・東大阪市ともに、年々減少傾向。東大阪市内の事業所数は、過去10年で30.7%減少、現在、6,016事業所(平成20年)。

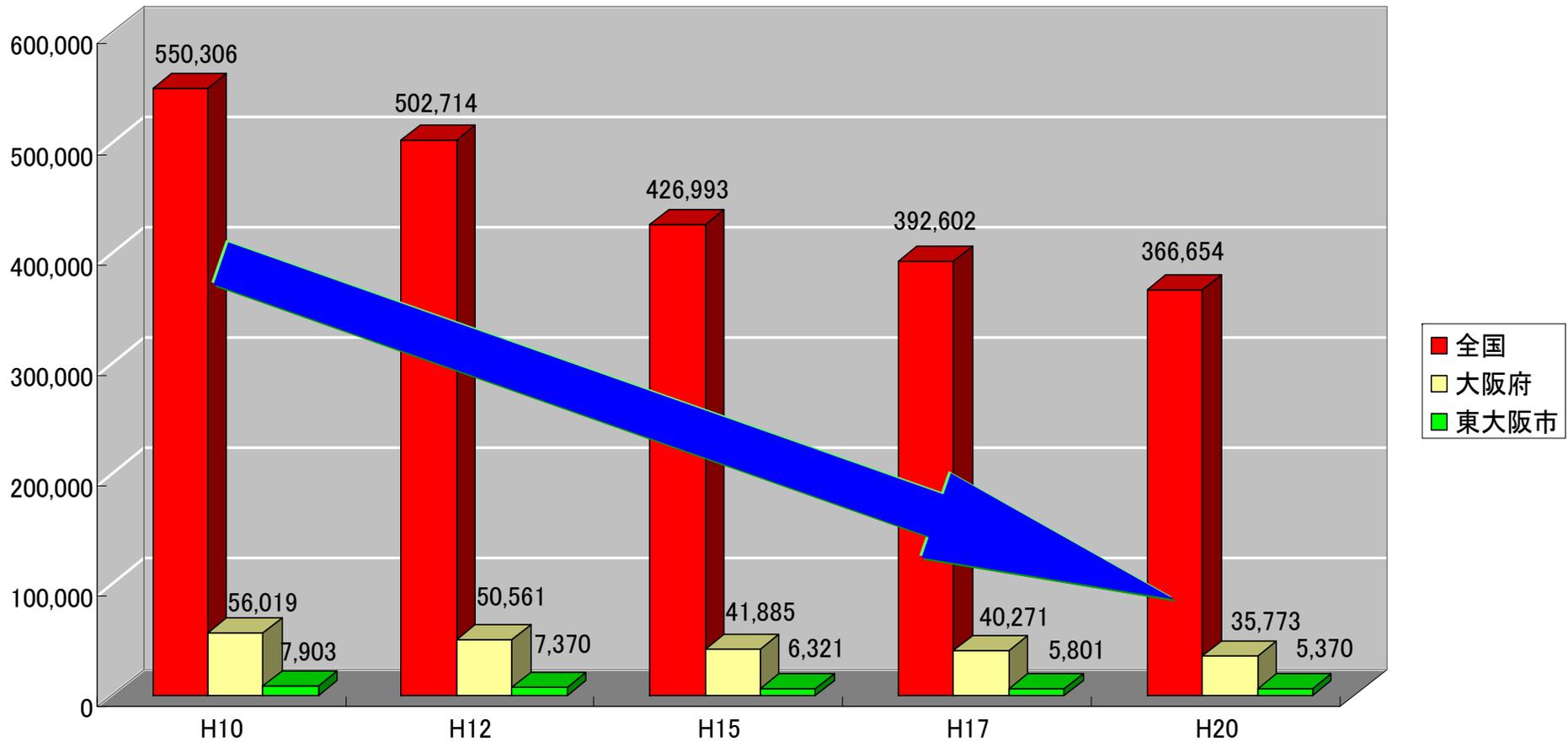


資料：工業統計調査

東大阪市の現状と課題②: 小規模事業所数の大幅な減少

【資料1】

- 小規模事業者数(※従業員19人以下の事業者)についても、同様に全国・府内・市内とも大幅な減少傾向。
- 減少した中小企業の9割以上が小規模事業者という結果。



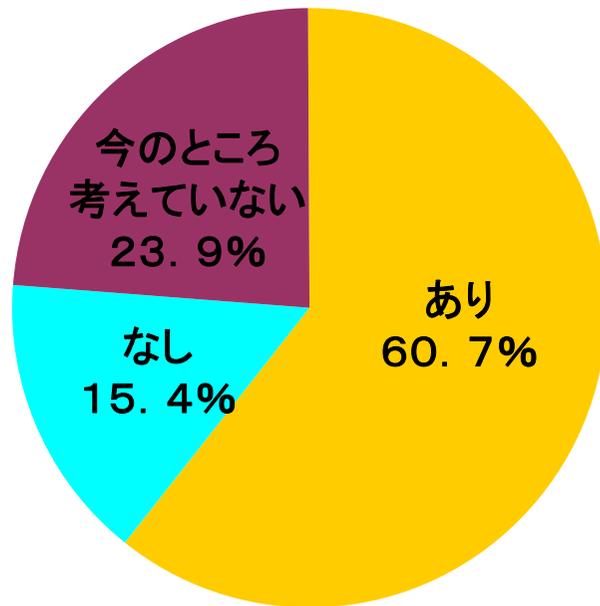
資料: 工業統計調査

東大阪市の現状と課題③：後継者不足

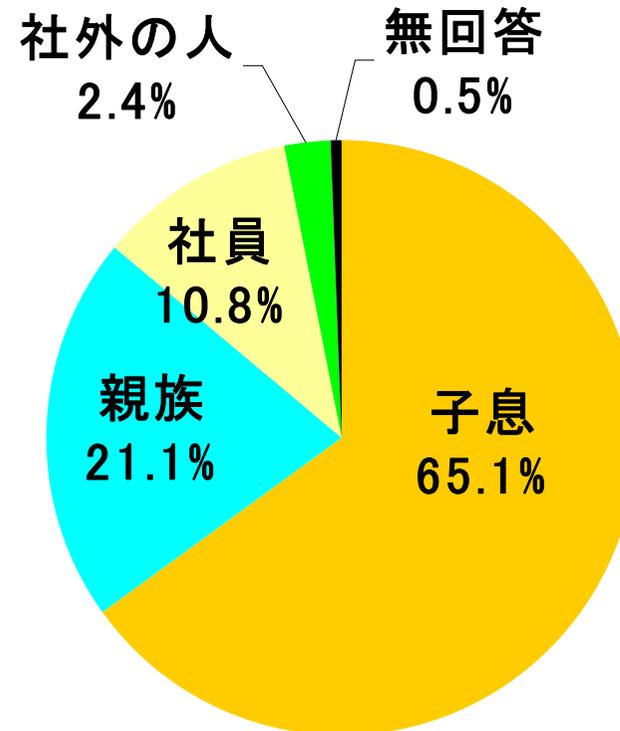
【資料1】

- 後継者の有無について、「あり」と回答した企業が370社(60.7%)と6割を超えている状況。
- 代表者と後継者の関係については、「子息」が241社(65.1%)と6割を超えている状況で、「親族」も含め血縁関係者を後継者と考える企業が8割を超えている状況。

【後継者の有無】



【代表者と後継者の関係】

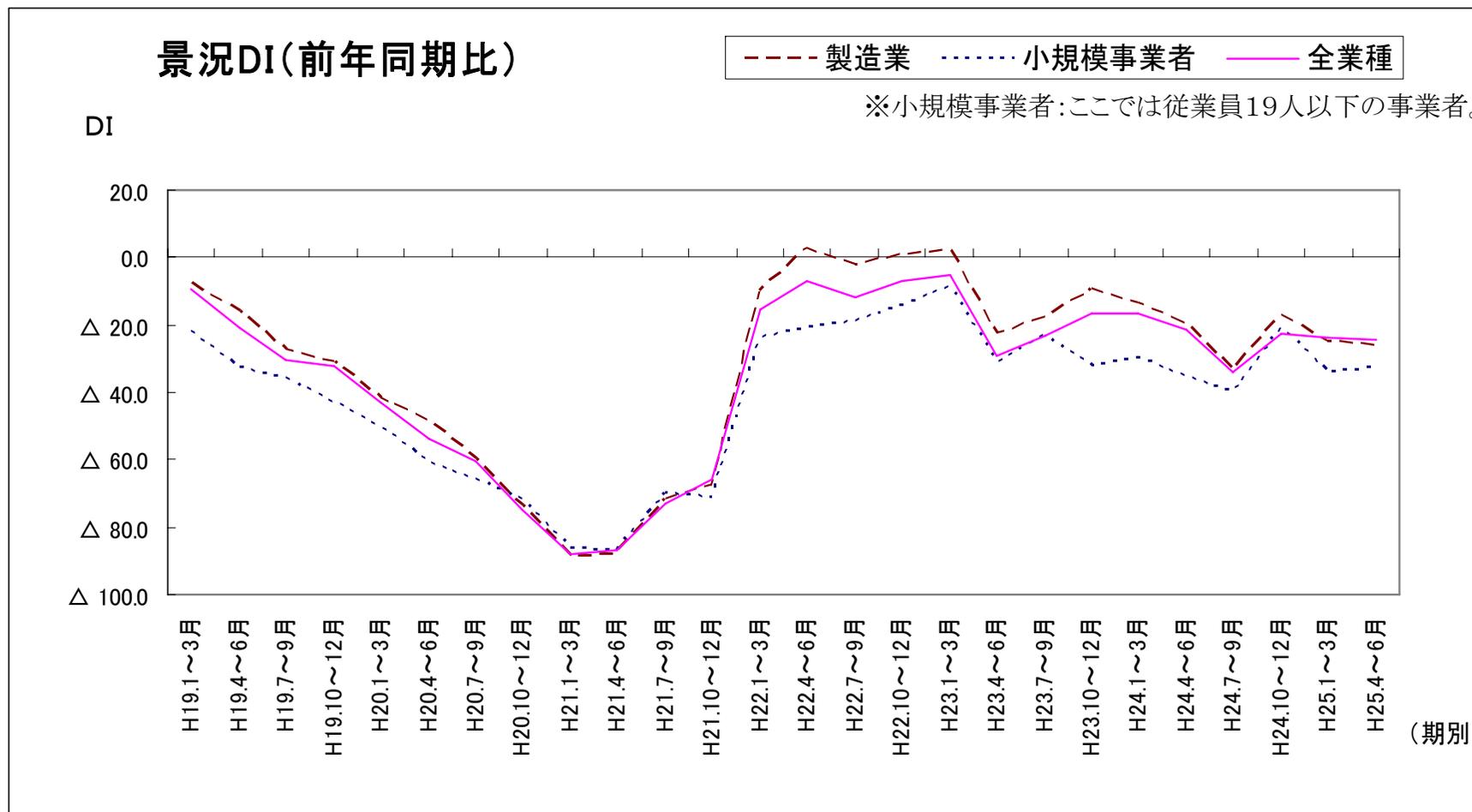


資料：東大阪市内中小企製造業の経営に関する実態調査(H24. 3)

東大阪市の現状と課題④：市内中小企業の景況感

【資料1】

- 本市調査によると景況DIは平成19年以降、急速に悪化し、平成21年1月～3月期の景況DIは調査開始以来、最低水準の△89まで低下。
- 景気低迷からようやく回復基調に移行するのではという期待感はあるが、まだ先行きに慎重な見通し。直近の平成25年4月～6月期の景況は△24となっている。
- 特に小規模事業者にとっては、厳しい状況が続いており、回復基調も浸透していない。



資料：中小企業動向調査